

校区の人口 令和7年1月現在

町名	世帯数	総人口	男	女
大野芝町	1,786	3,612	1,771	1,841
学園町	253	472	246	226
新家町	1,859	3,914	1,923	1,991
土塔町	3,058	7,146	3,410	3,736

広報 44号

令和7年2月発行

発行：東百舌鳥校区自治連合会
東百舌鳥校区福祉委員会
《各戸配布》

東百舌鳥

東百舌鳥校区自治連合会
会長 北野 裕文

新年度の活動について



11月10日(日) 防災訓練(約150人参加)

昨年は校区自治連合会並びに各自治会の活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年も昨年同様お願いいたします。

令和7年度は、住み良い町づくりに努め、安全・安心のため防犯灯のLED交換、防犯カメラの増設など犯罪を未然に防ぐ事を目標に進めたいと思います。「防犯カメラの映像が見たい」と警察署からの問い合わせが増えてきており、防犯カメラの設置により犯罪者の逮捕に繋がっています。また、地震・温暖化が進む中、近隣住民の絆を深めて万が一の災難時の積極的な声かけにつながるように、校区自主防災会が開催する防災訓練の防災活動体験を通じて防災意識を高めていきたいと考えています。この毎年11月に行っている校区防災訓練では、中消防署の指導のもと、消火器での消火訓練、負傷者の搬送訓練、AEDを使った心肺蘇生訓練、煙体験そして中区役所指導でのマンホールトイしの組立と使い方と様々な体験が出来ます、昨年は防災グッズとして「パックご飯・レトルトカレー」2食分・長期保存水などを訓練後にお持ち帰りいただきました。今年は11月9日(日)を予定しておりますので多くの皆様の参加をお願いします。また、各町自治会の様々なイベント、堺市が行う市民オリンピック、中区区民フェスタの開催が予定されています。より多くの皆様に参加していただき、語り合い、絆を深めていただきたく思っています。

最後に、校区の皆様と共に、安全・安心で、より一層暮らしやすい街づくりを進めていきたいと思いますので、皆様のご理解とご協力を頂けます様ようしくお願い申し上げます。

土塔町会長・校区副会長
藤木博則

令和6年度を振りかえる

た。当日は大勢の方々にお越し頂き、盛大に終えることができました。引き続き伝統文化を次世代に引き継いでいきたいと考えています。

土塔町自治会活動については例月の活動のほか、百舌鳥八幡宮へのふとん太鼓運行奉納をはじめ夏の盆踊りなどの事業を、多くの町民の協力で例年にも増して盛大に執り行うことができました。また10月には堺市文化財課と共催事業として、史跡土塔の一般公開と土塔町所蔵神楽道具の展覧会を開催いたしました。一般公開には岸和田市や大阪狭山市も行基繫がありで参画して頂きました。神楽道具展では、江戸時代より伝わる獅子頭、胴着類、鳴物道具などを初めて公開しました

新家町会長・校区副会長
小谷利一大野芝町会長・校区副会長
中井信治

今年度は自治会活動にご協力いただき無事各種行事を実施することが出来ましたことをお礼申し上げます。新年度も自治会の会員の皆さまが多数参加していただける行事を予定しております。地域の繋がりを持続するためにも多数の参加の程、よろしくお願ひいた

新家町会長・校区副会長
小谷利一

元日に能登の地震から始まった令和6年ですが、大野芝町は平穡な一年であったと思います。今年度自治会は、会員が楽しそめる行事を実行してきました。一つは太鼓巡業です。太鼓の担ぎ手が少なくなるつづいていくなかで関茶屋、下草尾両自治会とも協力しあつ

て多くの皆様に壮大な巡行を観ていただくことができました。また、昨年と同様多くの方々から御花代をいたいたことに深く感謝いたします。バス旅行では11月末日にもかかわらず近江石山寺は見事な緑と紅葉のコントラストで参加者を魅了してくれました。12月の園芸講習会ではお正月に飾れる寄せ植えを作りました。参考の満足感溢れる笑顔が見られました。散歩の途中に寄せ植えを見かけると製作者のほほ笑みが感じられて心がほっこりしました。令和6年度は前年度と同じくお願い申しあげます。

最後に、当町では桜への害虫の被害があり、若宮神社、星谷池等で立ち枯れが発生しております。春になれば心を和ませてくれた桜が枯れ、少し寂しい春を感じることになります。

します。今年度も自然災害や事故等が多発する状況が続き、身近にいつ発生しても不思議ではありません。高齢化社会が進み、また単身世帯が多くなり、自助、公助の考え方からも身近な協力関係を普段から考えておく必要があると思います。地域、学校、行政等が一体で対応する上でも自治会活動を進める必要を感じます。

最後に、当町では桜への害虫の被害があり、若宮神社、星谷池等で立ち枯れが発生しております。春になれば心を和ませてくれた桜が枯れ、少し寂しい春を感じることになります。



堺市文化財課の学芸員による解説(土塔町公民館)

東百舌鳥小学校
校長 加藤 健東百舌鳥中学校
校長 武田真也

今年度、本校では「卒業後、自己選択ができる、社会の一員としてふさわしい人間」を育むことを目的に、多様な教育活動に取り組んできました。特に2年生の防災教育では、防災訓練や専門家との交流を通じて、災害時に何が必要か、自分たちに何ができるかを主体的に考える姿勢を育てました。また、地域清掃活動では全学年が協力し、環境美化に努め、地域社会の一員としての自覚を深めました。さらに、部活動では技術向上だけではなく、チームワークや礼儀を重んじ、仲間とともに目標を達成する喜びを味わいました。

これらの活動を通じて、生徒たちは自ら考え行動する力を培っています。今後も地域とともに生徒の成長を見守りながら、一層の教育活動に努めてまいります。引き続き、ご理解と協力を願っています。



子供会活動をふりかえる

子供会育成協議会会長
連合子供会会長

田中克典

今年度も校区の皆様には、常日頃より子供会活動にご理解とご協力を、また子供達へは暖かいご声援を頂きありがとうございました。

今年度は子供達に新たな体験をして貰おうと布団太鼓の祭り体験、大野芝町・新家町・土塔町の3町合同イベントとして原池公園でのBBQ等の新たな行事を開催してきました。小学校の協力の下にクラブ体験会も各クラブで開催でき、子供会に入会してくれる子供達も増えました。連合子供会として新たな試みを開催し、子供会活動を沢山の人に知つていただけた年であったと感じています。

保護司の活動について



保護司
松川宇一郎

保護司に任命されて20年、多くの青少年や罪を犯した大人たちとかかわりを持つことになりました。裁判所等で「保護観察」になると、保護観察所からの依頼を受けて私たち保護司が担当することになります。月一回の対象者との面接、三ヶ月に一度、住んでいる家を訪ねます。中でも初回の面接を重視していく自己紹介をしつつ犯した罪を振り返らせ、今後の保護観察の進め方について対象者と会話し、何としても再犯させないために、見捨てないように心掛けて閉ざしがちな心を開かせるよう接しています。

そんな中でも私たちが忘れてはならないのは、対象者が犯した罪の中には被害者の方がおられることがあります。面接を重ねつつ被害者の方の気持ちと一緒に考えさせるような指導もします。このような中で長年保護司を続けて「やりがい」を尋ねられたら、「元気にやるんやで」と送り出した青少年たちが大成して家庭を持ち、幸せに暮らしているとの連絡をくれたり、新しくできた家族を紹介に自宅まで訪ねてくれた

がらの活動でしたが来年度に繋げる良い収穫もあつたので次年度も様々な試みに連合子供会はチャレンジしていく思います。引き続き子供達には色々な体験をして貰おうと考えていますので今後とも地域の皆様のご協力を宜しくお願い致します。



市民オリンピック結果報告

10月14日（月・祝）第50回堺市民オリンピックが開催されました。

（体育指導委員長 吉村一郎）



【結果】

・バレーボール 優勝	・ソフトボール 準優勝	・卓球 3位
・ゲートボール 準優勝	・グラウンド・ゴルフ 大健闘	・陸上 小学生男子100m 6位



連合子供会クラブ活動

ドッジボール監督 大塙正幸

いつも応援ありがとうございます。

ドッジボールは1年生から3年生まで第1・第3土曜日の9時～11時に学校で練習しています。中ブロック大会に向けて頑張っていましたが、今年度は残念ながら優勝することができませんでした。来年度の優勝に向けて2月から練習開始します！！！

地域の皆様こんにちは。応援ありがとうございます。
早くも結成から4年が経ち毎年子ども達の成長が見られる事を楽しく思います。

来年度は今年度達成できなかつた各大会、中央大会での優勝を目指して子供達とがんばります。一緒にソフトボール楽しむ仲間も募集中です。

地域の皆様、いつも応援ありがとうございます。
この1年は技術面だけではなく、精神面でも大きく成長できた年だと感じました。

来年度の目標はブロック大会優勝ですか！応援よろしくお願いします。

地域の皆様、いつも応援ありがとうございます。
本号では、「令和6年度をふりかえる」とことで広くご寄稿をいただきました。ボストコロナと言われ活動が再開されながらもどこか恐る恐るであった前年度とは異なり、今年度の活動は心から楽しめたことと思います。また、保護司の活動を保護司歴20年の松川様からご紹介をいただきました。犯罪や非行をした本人の立ち直りを支援する一方で被害者の方の気持ちを考えさせる指導を行つてゐることを知り感銘を受けました。皆さまはご存じでしたでしょうか。

それでは次年度も変わらず校区の活動へご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



編集後記

本号では、「令和6年度をふりかえる」とことで広くご寄稿をいただきました。

このことで広くご寄稿をいただきました。ボストコロナと言われ活動が再開されながらもどこか恐る恐るであった前年度とは異なり、今年度の活動は心から楽しめたことだと思います。また、保護司の活動を保護司歴20年の松川様からご紹介をいただきました。犯罪や非行をした本人の立ち直りを支援する一方で被害者の方の気持ちを考えさせる指導を行つてゐることを知り感銘を受けました。皆さまはご存じでしたでしょうか。

それでは次年度も変わらず校区の活動へご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（広報編集委員長 大江真道）

発行責任者

北野裕文